



# 大阪活性化推進総研

2023年1月1日

## ニュース

第33号

### 新年明けましておめでとうございます。

2023年、皆様はどんなお正月を過ごされましたか？コロナ禍は一向に収束せず、ロシアのウクライナ侵攻も年を越え、先が見えません。物価高、増税が暮らしを圧迫します。とはいえ、オミクロン株は重症化しにくく、ワクチン接種も進み、昨年、一昨年よりは初詣や旅行もしやすくなったのではないのでしょうか。

右の写真は昨年秋のウォーキングで訪れた大津市の三尾神社です。“ウサギの神社”として知られ、絵馬や屋根瓦、境内いたるところにウサギがいるなかなか楽しい神社でした。ウサギのかわいい顔を見つめていると何となく気分が明るくなってきませんか？ウサギ年の今年、創立20周年のODIも、2023年はウサギにあやかって飛躍の年になってほしいものです。



### 教育支援事業についての中間報告

前号でご報告した通り、ODIは設立20年の記念事業として、経済格差が教育格差につながり、子どもたちの可能性が奪われている現状に対し、そうした子どもたちへの教育支援活動を行っている団体にささやかながら寄付を行おうと、対象となる団体等の選定を進めています。昨年11月、大阪市社会福祉協議会の「子ども支援ネットワーク事業」の登録団体の中から、大阪市内に活動拠点を置くNPO3か所を訪問・見学してまいりました。

大阪市天王寺区にある「ふらいおん」は、大阪教育大の学生らが2020年に設立したばかりの団体ですが、「伸ばせる子どもに教育の翼を」を合言葉に、ボランティア講師の学生らがビルの一室で放課後の子どもたちを迎え入れ、宿題をみたり独自教材で指導したり、とても熱心に取り組んでいました。部屋は同区内の某社会福祉法人が無償で貸してくれたものですが、光熱費や教材費など運営資金は行政や企業の補助金頼りだそうです。週末には近くのお寺で工作や書道などのイベントを行い、淀川区の事務所では習い事を中心に有料で学童保育も始める予定とか。

対照的だったのが「関西子ども文化協会」（中央区）です。1999年に子育て支援からスタート。不登校、虐待、など現代の子どもが抱える問題にトータルに取り組むNPOですが、大阪市からの事業委託も受けており、年間予算も桁が大きく、ODIが組むには規模が大きすぎる感じでした。



小学校の廃校舎を借りて行っている東淀川区の「あわじ寺子屋」（東淀川区）も、「ふらいおん」などと取り組みは似ているものの、地域社会によって支えられている面が強く、外部からの支援をただちに必要としているようには見えませんでした。少額でも経済的な支援が有効に生かされそうな点や、将来的な可能性などから、事務局としては「ふらいおん」を対象団体として推したいと思いました。（文責・吉井佳容子）

# 2022 年秋のウォーキングを全4回実施しました！



オミクロン株による第7波も落ち着いてきた昨秋は、春に引き続き、3年ぶりに全4回を実施。第2回と第3回が雨天のため予備日での実施となり参加人数は減ったものの、参加者層の体力に配慮した無理のない歩行距離、自然や文化に触れられる工夫されたコースで、全員完歩し、秋の一日を楽しみました。

## 第1回「大津歴史博物館と琵琶湖岸、大津祭曳山展示館を巡る」コース（約5.0km）

実施日：10月4日（火） 参加者：21名

コース：JR湖西線大津京駅—大津市歴史博物館—三尾神社—琵琶湖疎水第一、第二取水口—大津港なぎさ公園（昼食）—曳山展示館—JR大津駅



快晴のもと、大津京駅から皇子山陸上競技場の山側沿いに歩き、まず大津市歴史博物館へ。係員から説明を受け、縄文時代から近代までの大津の歴史を紹介する館内を見学。近江大津宮（大津京）の発掘調査で見つかった建物跡から造られた復元模型もあり、2階のベランダからは絶景の琵琶湖を一望できました。

三井寺（園城寺）は通過し、兎の神社と知られる三尾神社へ。宮司さんからその謂れを伺い、多くの人が今年の干支であるウサギの絵馬や置物、瓦を写真に取め、お守りやキーホルダーを買っていました。琵琶湖疎水に沿って下り、遊覧船の乗り場を経て第一・第二取水口を見て、なぎさ公園内にある大津港に辿り着きました。大型遊覧船や湖の全景を眺めながら昼食。午後は丁度その週末に実施される大津まつりの曳山展示館を見学。実物大の山車を仰ぎ見て全員で記念撮影をしました。

## 第2回「五色塚古墳から明石大橋のたもと舞子公園」コース（4km）

実施日：10月20日（木） 参加者：16名

コース：JR垂水駅—五色塚古墳—県立舞子公園—昼食—橋の科学館—舞子海上プロムナード—孫文記念館—JR舞子駅



JR垂水駅より閑静な住宅地を抜けて五色塚古墳へ。熱心な担当者の説明を聞き、古墳頂上から空堀の底までゆっくり見学した。木々に覆われた古墳と異なり、築造当時の形に復元された古墳を満喫。墳丘の頂上から明石海峡大橋、淡路島、大阪湾からはるか紀伊半島までを一望でき、行き交う船舶の眺めは最高であった。

古来景勝地として詠われた舞子海岸を散策して、回復された松林で昼食し、舞子公園を楽しんだ。午後は公園内の孫文記念館を見学、舞子海上プロムナードでは海面高さ37m、海上張出150mの海上遊歩道からの展望、橋の科学館では3D立体映像を体験して、通常とは少し趣の異なるウォーキングであった。

## 第3回「平城宮跡と三十三面観音巡礼～みやこのあとを巡る」コース（約8km）

実施日：11月4日（金） 参加者：15名

コース：近鉄大和西大寺駅—西大寺—平城宮跡（大極殿・南門・朱雀門、見学・昼食）—東院庭園—法華寺—海龍王寺—新大宮駅



近鉄西大寺駅をスタート、目の前に見える西大寺を訪ねました。女帝・孝謙天皇が、父・聖武帝の東大寺に做って創建。災害や戦火で盛時の面影は失われたとはいえ、重文の十一面観音像をはじめ寺宝も多く、格の高さがうかがえるお寺でした。安倍元首相が狙撃された現場を通過して平城宮跡へ。復原されている建物のうち、最北に位置する大極殿に上りました。西に生駒山、東に若草山、はるか南に朱雀門が見えるその広大さに目を見張りました。平城京の街はさらにその南に広がっていたというから驚きです。3月に竣工した南門（大極門）近くの休憩所で昼食。午後は宮廷貴族が管弦の遊びや宴会をした東院庭園を散策後、平城宮を後にし、法華寺、海龍王寺を訪ねました。どちらも光明皇后ゆかりの寺で、法華寺の十一面観音像（国宝）、海龍王寺の十一面観音像（重文）と、3か寺合わせて三十三面、いずれも春秋の限られた時季にしか特別開帳されないお姿に巡り合うことができました。

第4回「幻の陶器の里を尋ねる」 (A=約5.5km) (B=約7km)

実施日：11月16日 参加者：23名

コース：泉北高速泉ヶ丘駅—大蓮公園(須恵器窯跡)—高倉寺—三原公園—陶荒田神社—昼食後解散

(Aグループ=バスで深井駅へ、Bグループ=徒歩で泉ヶ丘駅へ)

泉ヶ丘駅を出発し大蓮公園に行き、発掘のままに移築された古代須恵器の窯跡を見学した。当時の渡来人がもたらしたセラミックスの最先端技術である須恵器は全国に供給された由。その後緩やかな泉北丘陵を登り下りして、高倉寺へ。



「大須恵山高倉寺」は行基菩薩が創建し陶工集団が守ってきた。泉北の緑道を歩き三原公園へ、さらに「陶荒田神社」まで歩き昼食。同神社は大田田根子を祀っている。崇神天皇のとき疫病を治めるため田根子を大神神社の神主として出雲の大物主神を祀ったことと合わせると、大和政権の成立に出雲の勢力や渡来人の勢力が、絡み合っているのが感じられた。昼食後は2班に分かれて解散した。

ODI 俳句の会

《10月7日・第20回句会から》

いつからかオオロギの鳴く熱き夜  
秋高し山車建て終えて出番待ち  
野ざらしのあばら骨浮く秋の空  
ティーカップ冷める早さが秋を呼ぶ  
曼殊沙華色褪せて咲く道の端  
蝉むくろ網戸にひしとすがりおり  
町の音絶えぬ夜明けか夏曆  
秋茄子や紫紺深めて土触る  
次々と値上げのうねり秋の海  
近寄ればはたとやみたり虫の声

徳治 住容子 捨盆 繁幸 佳容子 喜代志 捨盆 肇 肇 喜代志

10月7日、第20回句会を大阪・北区民センターで開催しました。参加者6人でした。コロナ禍のせいもあるのですが、ここ1年余りメンバーが固定してしまい、新メンバーの参加が待たれるところです。

「秋」の文字が多く登場したものの、夏の間からオオロギの鳴き声を聞き彼岸花を見かけるなど、異常気象で季語と生活実感が合致しないことも多々あるようです。

☆第22回は2023年4月7日(金)午後2時から。大阪市の北区民センター(JR天満駅または市営メトロ扇町駅より徒歩3分)で。初めての方も大歓迎!

詳細は担当・松井(090-5046-4075)まで。

< 用意するもの >

- ① 短冊(幅3㌢、長さ15㌢くらいの紙なら何でも可) 1枚に1句ずつ、計3句を書いてご持参下さい。季題は自由です。
- ② ノート、筆記用具
- ③ 参加費 500円



第20回Odiゴルフを楽しむ会結果報告

令和4年11月24日(木)茨木国際ゴルフ倶楽部にて開催。秋たけなわ、快晴・微風の絶好のコンディションの中で、新規の2名を加えた11名が参加。全員無事完走できました。皆様の日頃の精進の賜物です。参加者の氏名及び表彰の状況は右の通り(敬称略)。



	氏名	表彰	NP
第1組	植田省吾		
	岡本由幸	3位	
	市村元一		
第2組	山本茂伸	5位	
	藤井健二	2位	○
	小山基博		○
	草野賢治	1位	
第3組	平岡宣夫		
	木村壽秀	7位	○
	西村義明		
(担当・平岡宣夫)	佐藤信行	BB	○



昨年からご好評をいただいている「朝の光のクラシック」が2月19日（日）10時30分から、大阪梅田のザ・フェニックスホールで開催されます。

今回ご紹介するのはヴァイオリニスト落合真子さんのリサイタル。落合さんは滋賀県出身、東京芸大に特待奨学生として首席入学、現在3年に在学中ですが、日本音楽コンクール第2位をはじめ、数多くの賞を受賞し、演奏活動も行っている若手のホープです。ピアノ伴奏はソリストとしても活躍する古武優さん。曲目はパガニーニ「24のカプリース Op.1No.1」、モーツァルト「ヴァイオリン・ソナタホ短調 KV.304」、ブラームス「ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調 Op.108」、イザイ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Op.27.No.6」など。

入場料一般3000のところ、ODI関係者に限り2000円となります。

※参加ご希望の方はメールか電話で吉井まで。kayo4311@jcom.zaq.ne.jp 090(5242)6283

### 特別版『USJを楽しむ会』

## お孫さんと行くクリスマスのUSJ

2年ぶりに開催の『USJを楽しむ会』は、好天に恵まれた12月11日（日）、8時30分に地球儀前に集合した7名でスタートしました。

すでに1万人を超えるUSJファンが詰めかけていて、入園後8時40分に手にした超人気のマリオ「スーパー・ニンテンドー・ワールド」のエリア入場整理券の入場時間は6時間後の14時10分から。それでも、お孫さんの手を引いてお祖父ちゃん、お祖母ちゃんがんばります。「ミニオン・ハチャメチャ・アイス」を手始めに、17時のクリスマス・ツリーの点灯式まで、9つのアトラクションを体験しました。



(写真提供=柴田雅裕)

昼食は、お子様向けの「スヌーピー・バックロット・カフェ」でお孫さんたちが選んだ同じスヌーピーのハンバーガーです。「スーパー・ニンテンドー・ワールド」では、お孫さんのお目当てのピーチ姫人形とヨッシーのカチューシャをゲットしました。もちろん大人向きのアトラクションにもチャレンジ。「ジュラシック・パーク・ザ・ライド」「ユニバーサル・モンスター・ライブ・ロックンロールショー」「アメージング・アドベンチャー・オブ・スパイダーマン・ザ・ライド」と、おっかなびっくりで大挑戦しました。お祖父ちゃんとお祖母ちゃんが、お孫さんに面目を果たした最高の1日となりました。(担当・出雲弘紀)



### 編集後記

この号が皆様のお手元に届く頃はお正月気分もすっかり抜け、日常の生活が始まっていることでしょう。2023年はどんな年になるのでしょうか？コロナが収束し、景気が上向き、そして何より、世界が平和に向かってほしいものです。ODIも活動を控えざるを得なかった3年間に終止符を打ち、時代に即応した新たな局面を切り開いていきたいと思っています。どうか変わらずご支援下さいね（吉）

### NPO 大阪活性化推進総研(ODI)

〒530-00 大阪市北区中之島4-2-28、  
甲南アセット中之島ビル

TEL : 090-5251-8906 FAX : 06-6438-9070

E-mail : ica14229@nifty.com

http:// npo-odi.life.coocan.jp/